

事業の概要及び再評価に係る資料

事業名	一般国道313号改築事業(倉吉道路)	事業箇所	くらよし おがも わだ 倉吉市 小鴨~和田		
再評価対象理由	事業採択後5年を経過している継続中の事業であって、進捗状況、社会情勢等から再評価が必要であると判断されるため				
未着工または事業が長期化している理由等					
事業の概要	事業目的	当該路線は、鳥取県北栄町から岡山県真庭市に至る全長約50kmの地域高規格道路「北条湯原道路」で、中国縦貫自動車道、米子自動車道、山陰自動車道と併せて循環型ネットワークを形成する路線であり、鳥取県中部地域の観光・産業振興、岡山県真庭地方生活圏と鳥取県中部地方生活圏との交流にも不可欠な幹線道路である。 倉吉市小鴨から和田の当該区間は、沿線地域住民の通勤通学や日常生活においても利用者が多い区間であるが、沿線には人家や商店が連坦し、道路幅員も狭く、多くの市道が交差するため、域内交通と通過交通の混在による交通混雑が朝・夕の通勤時間帯を中心に発生し、交通事故が多発している地域である。 倉吉道路は、このような通過交通と域内交通の分離を図り、線形不良区間、事故多発区間の解消と、円滑な交通の確保により地域間の交流連携強化を図る目的とした全延長4.1kmの自動車専用道路を整備するものである。			
	事業実施内容	延長 L= 4,050 m 幅員 W= 7.0 (13.5) m			
	事業費負担区分	国 55 % 県 45 %			
	計画交通量	【算定中】			
事業進捗状況	事業採択年度	H17	着工年度 H17	完成予定年度 H32	事業期間 16年
	見直し前事業費	114.0 億円		投資事業費	116.8 億円(H25年度末) (進捗率 93.5%)
	現計画全体事業費(見直し後)	125.0 億円 【精査中】			
	事業進捗状況	用地進捗率: 97.2% 工事進捗率: 91.5% (H25年度末)			
事業を巡る社会経済情勢等の変化	現状での課題	-			
	地域の協力体制	地元関係者の協力がほぼ得られている。			
	関連事業との整合の変化	〔北条湯原道路関連〕 国道313号初和下長田道路(岡山県)が、平成24年度に事業着手 〔アクセス道路〕 県道倉吉由良線(大谷茶屋工区)が、平成25年度に事業着手 〔その他〕 国土交通省河川防災ステーションと倉吉市防災センターが、平成26年3月に完成			
	地域の事業に対する社会的評価	交通量分散を図ることなどにより、現道交通の分散による現道周辺地域の混雑の解消、交通安全の向上と沿道環境改善に貢献するものと期待されている。			
	その他	・倉吉IC~倉吉西IC間(L=3.3km)は、平成25年6月8日に開通 ・倉吉西IC~(仮称)小鴨ハ-7IC間(L=0.8km)は、倉吉関金道路の(仮称)小鴨ハ-7IC~(仮称)福山IC間(L=3.0km)と一括して開通予定			
費用対効果分析の要因変化	(費用)	①地元要望に伴う構造物の新規追加(農道橋)による事業費増(110百万円の増) ②軟弱土質対策の工法変更等による事業費増(490百万円の増)			
	(効果)	①将来交通量の見直しに伴い直接便益(走行経費節減、走行時間短縮、事故減少)を再算定			
	(費用対効果分析の結果)	費用便益比 B/C=算定中			
コスト縮減等の可能性	①盛土必要土を他の事業箇所より流用することによりコスト縮減 ②再生砕石の利用によりコスト縮減 ③国府川渡河橋等、橋梁の幅員を縮小及び新橋梁形式(少数主桁橋)の採用によりコスト縮減 ④盛土法面の防草対策による将来的な維持管理費の縮減				

1. 位置図

国道313号(倉吉道路)



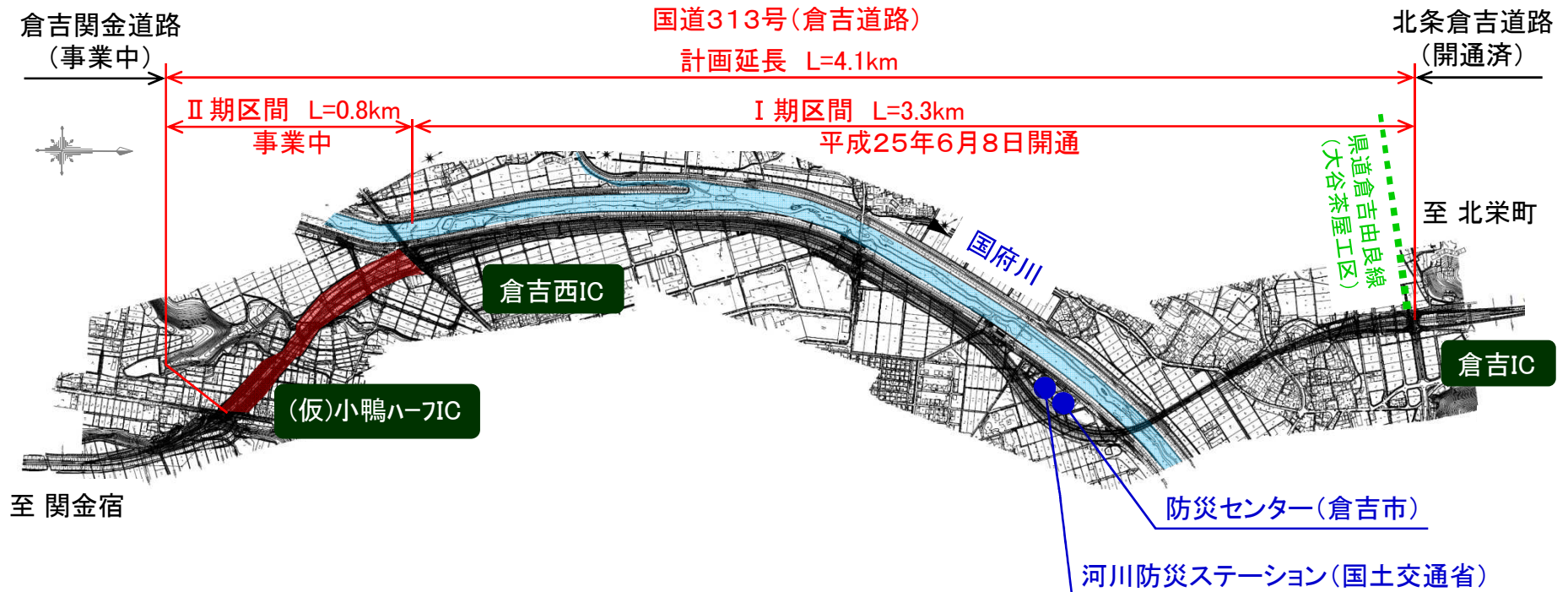
2. 北条湯原道路の状況

国道313号(倉吉道路)

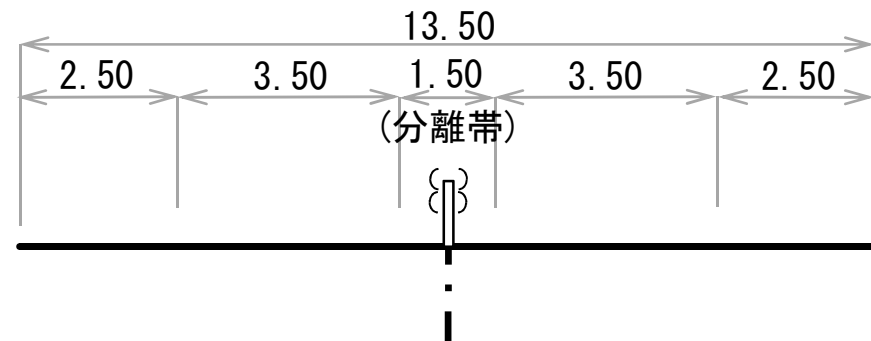


3. 平面図・断面図

国道313号(倉吉道路)



標準断面図



4. 増額理由

国道313号(倉吉道路)

